

【事業実績】

1. 神戸の文化資源を探り体験する活動

(1) 学芸員と神戸の文化資源を巡るフィールドワークの開催

「神戸市立博物館の学芸員と神戸を巡る」(全3回実施・定員各回一般20人)

神戸の歴史や文化を学ぶ講座 学芸員の解説をもとに、事前学習(於神戸市立博物館)と現地見学を実施。

①『『古事記』から春樹まで—神戸と海と文学と—』

7月6日事前学習(17人)、7月20日現地見学(19人)

主な見学先：松風・村雨堂、トアホテル跡、処女塚古墳、芦屋海岸

②「古写真からよみがえる神戸の街並み」

9月7日事前学習(15人)、9月21日現地見学(17人)

主な見学先：兵庫新河運河・柳原周辺、長田交差点・東尻池界限、須磨寺商店街

③「失われた記憶を求めて—廃墟・跡地ツアー—」

11月16日事前学習(14人)、12月1日現地見学(15人)

主な見学先：紅塵荘跡、摩耶山天上寺跡、武庫離宮跡

〈参加者の声〉

- ・文学になじみのない私ですが、とてもよい得難い経験をさせていただきました。これまで歴史として認識していましたが、歌をはじめとして小説等の現場に立つことの意味をあれこれ感じさせていただきました。
- ・古写真との比較、実際歩いて感じる事ができて、参加させていただき有難う存じました。
- ・自分では行かないような場所に行けて、説明も聞く事が出来て楽しかったです。



(2) 近代神戸の生活文化再現

「明治時代の洋菓子再現・大正時代の洋装再現」

神戸市立博物館所蔵資料をもとに、神戸松蔭女子学院大学の教員と学生が明治時代の洋菓子と、大正時代のウェディングドレスの再現を行った。成果報告書(各500冊)を、同館と同大学のほか、市内公共施設にて配布。報告会を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大防止のために中止。



「明治居留地音楽会」

明治時代の外国人居留地で演奏された楽曲を、神戸松蔭女子学院大学のチャペルにて演奏。

11月30日実施、参加者 183人

〈参加者の声〉

- ・素晴らしい音響の美しいチャペルで心の洗われるようなひとときを過ごさせて頂きました。居留地で当時の人たちがどんなふうに音楽を楽しんだのかのふことが出来ました。
- ・教会音楽ではなく、居留地に暮らした人々が楽しみで聞いた音楽という切り口がよかった。



2. 外国人に神戸の文化資源を紹介する活動

(1) 英文パンフレット「神戸市内の伝統行事」の作成

神戸市内に伝来する伝統行事について、写真入りで日程や内容を英語で紹介する冊子（1000部）を製作。成果物は、市内の外国人が通う学校の他、市内関係施設にて配布。

3. 文化・アートを通じて地域・子供・ミュージアムを繋ぐ活動

(1) 美術館と地域の子供たちを繋ぐアートイベントの開催

神戸市立小磯記念美術館の前庭で、子供たちがアートに関する複数のワークショップを楽しむことができるイベントを開催。また、美術館の作品やアトリエを巡るクイズラリーも行った。

11月3日実施、参加者 2917名

〈参加者（ワークショップ出展者）の声〉

- ・子どもたちが創る楽しみを素直に感じながら取り組んでいる様子が見られた。
- ・何をするか自分で考えて作るという創造性のある楽しさがあって良かった。



(2) 各施設の特長を活かしたミュージアム連携ワークショップ

12の美術館、博物館が連携してワークショップを開催。それぞれのワークショップの企画や実施について協力館の利用者、学芸員たちが相互に学んだ。小学校から大学、教員や会社員など参加者は様々であり、学校などの教育現場での活用が見込める体験となった。

〈参加者の声〉

- ・体験した内容を子供たちに紹介したい。
- ・発想がやわらかくなった。
- ・いろんな方向から見る、考えるというのが勉強になった。

